

令和3年度第4回  
関東学生ホッケー連盟役員会  
議事録

期日：2021年8月24日（火）

時間：18時30分～20時38分

会場：オンライン会議にて実施

出席者：一川邦彦、寺本祐治（以上副会長）、関谷淳一、塩野谷住雄（監事）久我晃広（理事長）、萬納宏俊、成田健一（以上副理事長）、宮澤哲郎（事務局長）、臼井伸一、桑原一矢、西澤英一郎、三澤孝康、下平歩実、大野陽介、川口雄大、菅野芳哉（以上常任理事）、池田拓未（学連委員長）、野島啓太（競技委員長）、吉田丈（広報委員長）、石田紗英（財務委員長）、柳彩音（表彰委員長）、田平龍哉（学連副委員長）、井上稚比呂（書記）、山中一輝（審判委員長）

【審議事項】

1. インカレ実施規模の見直しについて

- ・7/14 役員会において、今年のインカレについてはフルサイズでの実施としていたが、現下のコロナ感染状況を考えると、フルサイズでの実施は難しく、主管学連として開催可能な実施規模について協議を行った。
  - ・久我理事長より、現在の感染拡大の状況、各大学での練習試合の禁止や活動停止の状況から、現時点でのコロナの状況ではフルサイズでのインカレ実施は不可能ではないか、最大でも昨年並みの開催が好ましいのではないかと意見があった。
  - ・池田委員長より、学生意見として、フルサイズでのインカレ実施を希望があった。
  - ・寺本副会長から、7/14の段階では、山梨で使用する2会場については使用可能と判断したが、現下の状況では、グラウンド確保は週末を含む3日が限度との説明があった。
  - ・他、昨年よりも感染が酷い状況であり（フルサイズで行うには）無理がある。学生の気持ちはわかるが、安全を担保するには、相応の検査が必要であり（費用負担等を考えると）縮小は止む無しとの意見があった。また秋季リーグを確実に実施すべきであり、（グラウンド確保の面からも）昨年行ったインカレ予選実施は難しいとの意見があった。
  - ・協議の結果、主管学連として実施可能な規模として、「10/30土」「10/31日」「11/1月」の3日間。準々決勝以降を想定、初日は2会場（山梨学院ホッケースタジアム、白根高等学校 第二運動場）とし、2日目以降は山梨学院ホッケースタジアム、3位決定戦は行わない」とした。
- 以上を8/26日学連役員会で報告し、協議頂くこととした。

2. 秋季リーグ開催マニュアルの見直しについて

- ・池田委員長より、秋季リーグ開催マニュアルの見直しについての報告があった。試合当日に新型コロナウイルス確認書のGoogle Formを導入したいとの説明があったが、本件については協議すべき点が多々あり、引き続き競技委員会で検討継続とした。8/29に監督主将会議が予定されており、同会議で開催マニュアルの説明を行うこととした。

【報告・連絡事項ほか】

- ・野島競技委員長より、秋季リーグの競技役員委嘱についての報告があった。
- 令和3年度秋季関東学生ホッケーリーグの競技役員については以下の通りである。

テクニカル・デリゲート (TD) 高野 禎  
アシスタント・テクニカル・デリゲート (ATD) 西澤 英一郎  
アンパイア・マネージャー (UM) 成田 健一  
アシスタント・アンパイア・マネージャー (AUM) 栗原 崇・高野 光洋

・久我理事長より、秋季リーグにおいての駿河台大学グラウンドの使用について、運営徹底するよう説明があった。各チームが開催マニュアルに従って対応していただかないと、学校より使用が許可されない可能性がある。従前以上に、施設側はコロナ対策に留意しており、それを踏まえた対応が必要である旨の説明があった。具体的には、春季リーグにおいては、試合前・試合後の他チームの試合観戦など（関係者以外はグラウンドに立ち入らないのが原則）。詳細は、8/29に監督主将会議で説明し、各チームに徹底することとした。

以上

(押印略)

関東学生ホッケー連盟副会長 一川邦彦

関東学生ホッケー連盟理事長 久我晃広

関東学生ホッケー連盟学連委員長 池田拓未